

説明資料

# 豊田自動織機「第六次環境取り組みプラン」



エコロップ

(当社エコキャラクター)

## <取り組みの変遷>

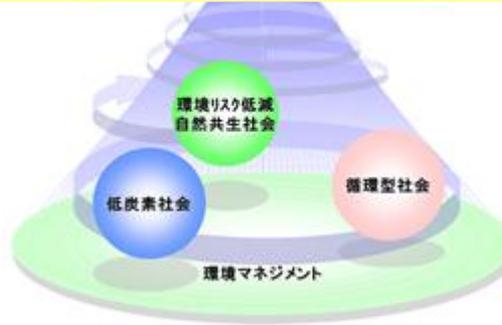
年度	1995	2000	2005	2010	2015▽現在
社会動向 (環境課題)	<p>公害防止 (化学物質)</p> <p>◆1992_地球サミット</p>	<p>◆1997_京都議定書採択</p> <p>◆不法投棄問題</p>	<p>◆2005_京都議定書発効</p> <p>◆アスベスト社会問題</p> <p>資源循環</p>	<p>◆2007_IPCC第4次報告書</p> <p>水</p>	<p>◆2015_パリ協定</p> <p>温室効果ガス</p> <p>◆レアメタル問題</p> <p>◆2010 COP10</p> <p>生物多様性</p>
環境方針	工場環境マネジメント 工場毎に環境方針を策定	連結環境マネジメント '02 織機グループ環境宣言 調和	'05 グローバル環境宣言	'11 グローバル環境宣言改訂	<p>地球と調和した豊かな暮らしの実現をめざして</p>
環境取組プラン 重点テーマ	'93 第一次   第二次	第三次	第四次	第五次	第六次
	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内体制整備</li> <li>環境配慮</li> <li>社会貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境効率向上</li> <li>社会的責任遂行</li> <li>地域社会と調和</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化防止</li> <li>資源生産性向上</li> <li>環境リスク低減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>低炭素社会の構築</b></li> <li>循環型社会の構築</li> <li>環境リスク低減、自然共生社会の構築</li> <li>環境マネジメントの推進</li> </ul>	<p><b>CO2ゼロ社会を見据え強化</b></p>

・第六次プランでは外部環境変化を受け「低炭素社会の構築」を強化

## <2050年目指す姿>

地球と調和した豊かな暮らしの実現を目指して

「グローバル環境宣言」



2050年

2030年

2020年

第六次環境取り組みプラン  
(2016~2020)

### [2050年目指す姿]

#### (1) 低炭素社会の構築

⇒ **グローバルでのCO2ゼロ社会**への挑戦

#### (2) 循環型社会の構築

⇒ 資源使用量の**ミニマム化**への挑戦

#### (3) 環境リスク低減と自然共生社会の構築

⇒ 生物多様性に**プラスの影響**をもたらす

#### (4) 環境マネジメントの推進

⇒ **連結マネジメントの強化**と意識啓発活動の推進

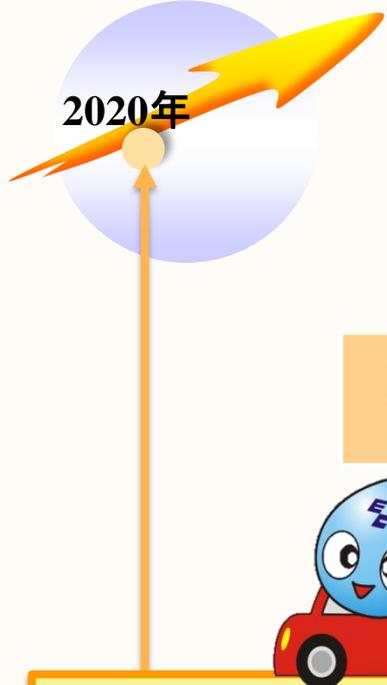
・グローバル環境宣言の4つの軸について「2050年目指す姿」を設定  
⇒ 2050年の社会を見据え、環境への取り組みを加速していく

2050年

〔2050年目指す姿〕

当社製品、または製品搭載車両使用時のCO2ゼロへの挑戦

<CO2ゼロエネルギー社会イメージ>



〔第六次環境取り組みプラン〕

▽取り組み方針

- 環境性能を極限まで高めた製品技術開発

▽実施事項

- ”3E”を軸とした研究開発、技術開発の推進
- CO2ゼロ社会実現に向けた技術開発の推進

※: 3E (Environment, Ecology & Energy)



<CO2ゼロ社会実現に向けた技術開発の推進>

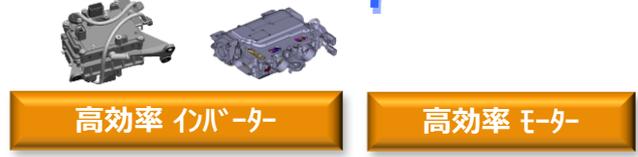
【FCV関連コンポーネント(圧縮デバイス)】



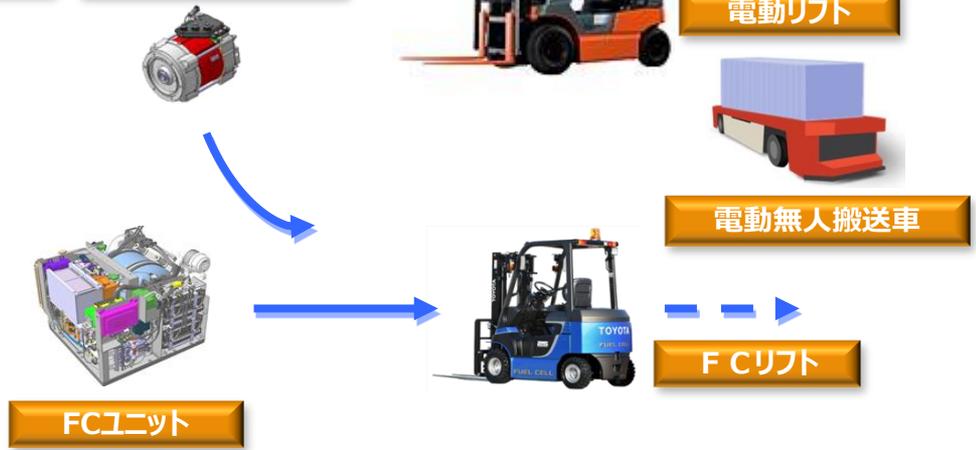
【軽量化コンポーネント】



【電動化コンポーネント】



【FCシステム】



・各種キーコンポーネントによるEV/FCVの普及拡大への貢献  
 ・FCリフトの開発と合わせて、全ての産業車両の電動化に挑戦



〔2050年目指す姿〕

工場のCO2ゼロへの挑戦 —エネルギー使用量の最小化と再エネ・水素の利活用—



〔第六次環境取り組みプラン〕

▽取り組み方針

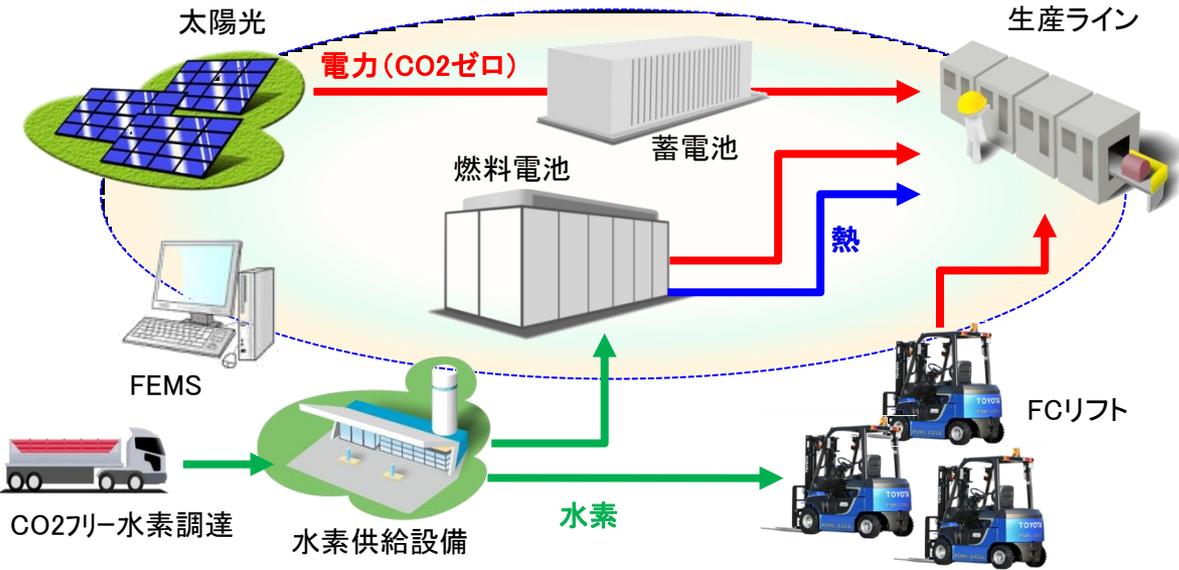
- 低CO2生産技術開発・導入とクリーンエネルギーの活用

▽2020年目標値 (2050年CO2ゼロに向けた通過点)

グローバル	排出量原単位	26%減(2005年度比)
単独	排出量原単位	30%減(2005年度比)
	総排出量	10%減(2005年度比)

<工場CO2ゼロに向けた取組みステップ>

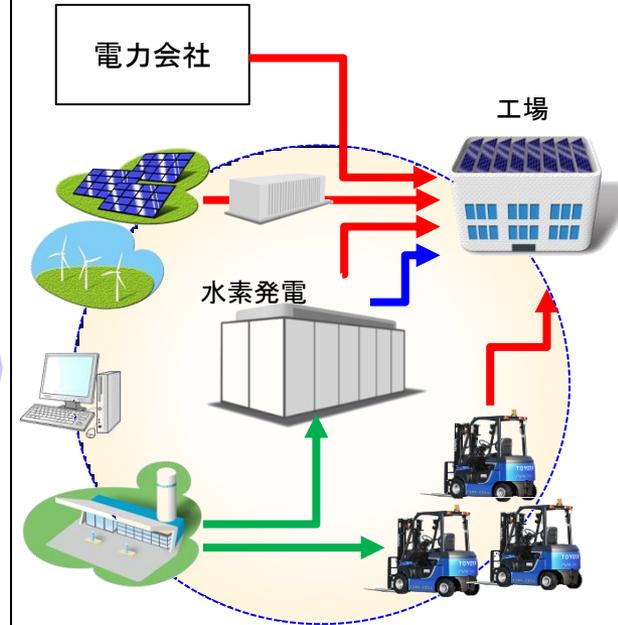
STEP1 モデルラインCO2ゼロへの挑戦  
2016~2020年



再エネ中心のCO2ゼロ

STEP2 工場CO2ゼロへの挑戦  
~2050年

2030年モデル工場をCO2ゼロ



★2050年に全工場CO2ゼロ

買電・再エネ・水素のベストミックス

・2020年にはモデルラインでのCO2ゼロに挑戦する

2050年

2020年

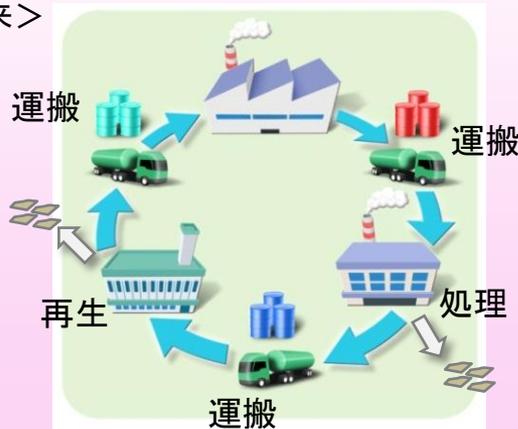


### [2050年目指す姿]

資源使用量のミニマム化への挑戦 — 廃棄物を限りなくゼロに —

- 源流対策による資源使用量の削減
- 工場内で可能な限り資源を循環
- 最先端技術で廃棄物の削減

<従来>



<目指す姿>



### [第六次環境取り組みプラン]

#### ▽取り組み方針

- 廃棄物の資源化による**資源枯渇対応の推進**

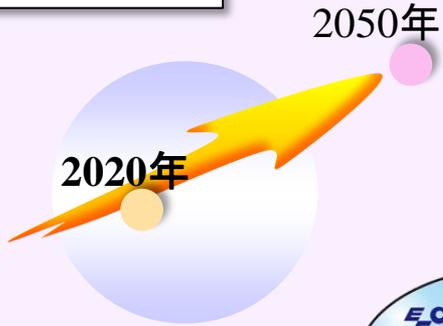
#### ▽2020年目標値

国内連結 排出量原単位 **27%減**(2005年度比)  
 単独 排出量原単位 **29%減**(2005年度比)

#### ▽実施事項

- 歩留まり向上等の**発生源対策**
- **社内再使用**の推進

## 水



### 〔2050年目指す姿〕

水資源への環境負荷ミニマム化への挑戦

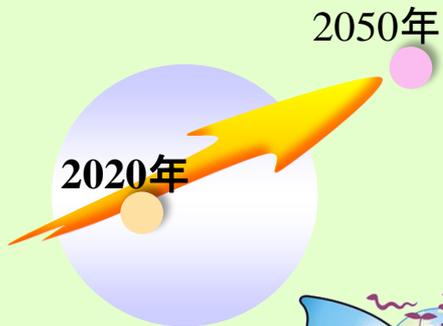
### 〔第六次環境取り組みプラン〕

#### ▽取り組み方針

- 水のインプット、アウトプット情報を把握し、対応策の立案と対策の推進



## 生物多様性



### 〔2050年目指す姿〕

多様な活動体(グループ、他企業、行政、NGO、学術機関、等)とさまざまな保全活動をつなぎ、生物生息域を創出(ネットワーク化)させることで、生物多様性にプラスの影響をもたらす

### 〔第六次環境取り組みプラン〕

#### ▽取り組み方針

- 織機グループの「緑をつなぐ」の実現に向けた、生物多様性保全活動の推進

